

# 議事録

会議名	第8回松江市伝統文化芸術振興審議会
日時	令和6年9月26日(木)14:00~16:00
会場	松江市役所 西棟5階「防災センター」 ※一部オンライン
出席者	委員
	出席委員 13名（欠席委員2名） 【出席委員】 垣内恵美子会長、石橋淳一委員、伊藤万耶委員、大隅宏明委員、 小野亮委員、河野美知委員、園山土筆委員、高屋茂男委員、田中昌子委員、田中豊委員、 原田順子委員、森山俊男委員、山本一成委員 【欠席委員】 小泉凡副会長、小林准士委員
	松江市(事務局)
	上定昭仁(松江市長) 桑原賢司(文化スポーツ部長)、今岡広樹(文化振興課長)、 平塚久美子(文化政策係長)、木村志成(文化政策係主事)、
次第	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 議事 (1)松江市伝統文化芸術振興計画 第1期実施計画について ①令和5年度事業の実績 ②令和6年度中間報告 (2)松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画の策定について ①第1期実施計画の振り返り ②第2期実施計画策定イメージ 5. 意見交換 6. 閉会

## 1. 開会

(桑原部長)	<ul style="list-style-type: none"><li>今回の会議は一部オンライン会議とする。</li><li>審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、公開の会議とする。</li><li>議事録作成のため録音を行う。</li></ul>
--------	---

## 2. 市長あいさつ

(上定市長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 昨年度の5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから、今年度は打って変わって文化芸術活動に勤しむことができるようになった。</li><li>・ 4月1日には、「総合文化センタープラバホール」がリニューアルオープンをして、たくさんの方にお越しいただく芸術文化の拠点としての機能を再開している。また今年1年間はメモリアルイヤーとすべく、様々なイベントを開催する予定である。これまでプラバホールに足を運んだことのない方にもお越しいただき、活動の発表の場と一流芸術の鑑賞の場にしていきたい。</li><li>・ 6月に来年の秋から NHK の連続テレビ小説で、小泉八雲の奥様「セツ」をモデルにした「ばけばけ」が放送されることが決定した。また本日は小泉八雲の命日で、本日从小泉八雲記念館の入館料を松江市民に限り一時的に無料にしている。このドラマを大きなきっかけとして、松江の魅力を市民が再発見して、市外の方にもその魅力が伝わるような取組みを継続して進めていきたい。</li><li>・ また、現在進めている「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」が今年度末で期限を迎える。第1期の振り返りや検証をしたうえで、第2期実施計画をどのように作っていくのか、委員の皆様には忌憚ない意見をいただきたい。</li><li>・ 松江の文化力を生かしたまちづくりを強力に推進していきたいので、皆様のお力添えを何卒お願いする。</li></ul>
--------	--

## 3. 会長あいさつ

(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 昨日松江に来たが、天候にも恵まれて、国宝松江城や素晴らしい街並み、宍道湖の煌めきと言った「美しいまち松江」を体感した。今年度もたくさんの文化活動を展開していること、大変うれしく思う。</li><li>・ 今回の会議では、来年度から始まる第2期実施計画の策定に向けたご議論をいただき。また来年度の予算の要求が始まる大事な時期でもあるので、委員の皆様には積極的なご議論をいただき、文化力を生かしたまちづくりに繋がればと思う。</li></ul>
--------	--

## 4. 議事

(木村主事)	〈令和5年度事業の実績及び令和6年度中間報告、第1期実施計画の振り返り、大2期実施計画策定イメージについて説明〉
--------	--

## 5. 意見交換

(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事務局からの説明を踏まえ、意見交換をお願いしたい。</li><li>・ 委員一人ずつ発言をお願いする。</li></ul>
(石橋委員)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日ごろから文化振興課の皆様には、大変ご協力をいただいております、感謝の念に堪えない。少ない人員の中で文化イベントや各種支援を実施されており、非常に大変だと思っている。</li><li>・ 本振興計画が非常に広い範囲で計画をされているので、現在の人数で計画を</li></ul>

	<p>施していくと、苦勞ばかりではないかと心配をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に事業を進めていくなかで感じることとしては、松江市の職員に専門性の高い人財を確保する必要があると思う。人事異動などで人が変わると、また1からコミュニケーションをとり、今までの経緯等を説明する必要があるため、専門性の高い職員がいると、もっとスムーズに事業を進めることができると思う。</li> <li>伝統文化の団体は、何をどうしていいのかわからない状態なので、国の補助金などを知識のある方がプッシュ型で提案してほしい。</li> </ul>
(伊藤委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>やはり令和 5 年度はコロナが落ち着いて、体験型のイベントがすごく増えた印象がある。松江には、こどもたちと一緒に行けて、こどもが体験できるイベントが充実していると思う。可能であれば、プラバホールでの音楽や舞踊、演劇を鑑賞する際に、託児のサービスがもっとあるといい。</li> <li>県立美術館では、毎日午前中に「かぞくの時間」と称して、小さなこどもがいても芸術鑑賞ができる。そういったものが他の施設でも実施されると、子育て中のお母さんが出かける場所が増えると思う。また、市内の施設に、おむつ交換の場所や託児所の有無などの情報が少ないと感じる。その情報があれば、子育て世代ももっと足を運びやすくなると思う。</li> <li>「ばけばけ」が放送されるようになれば、外国人も含めて、島根に興味のなかった方が来るようになる。そのような人たちに、松江の文化に関する情報をどのように届けるのか、アプローチの手法を検討する必要がある。</li> </ul>
(大隅委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラバホールがリニューアルオープンをして、松江音楽協会としても市民参加のイベントを実施してきた。特に「市民創作音楽劇」では、いろいろな人が関わり、議論を交わして作品を創り上げてきた。そのプロセスは非常に大切だと思う。</li> <li>情報発信は増えてきていると思うが、有機的に結びついていないと感じる。情報のヨコの繋がりを増やしていく必要がある。</li> <li>アンケートのサンプル数が少なく、比較的伝統文化芸術の体験者の回答が多いように見られる。</li> <li>地域や生活状況など、もう少し満遍なく調査をされてはどうか。また、体験格差の原因を究明するため、解像度の高い調査ができないか。</li> <li>文化施設同士で連携してイベントを開催するなど、文化施設のハブ化を進めて、相互の顧客を増やしていく必要がある。</li> <li>松江市民音楽祭の出演者が固定化されているので、これを若い世代や新しいグループも参加しやすい場にしてはどうか。</li> </ul>
(小野委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度は小泉八雲一色なのではないかと思う。ただ朝ドラのロケ地になった松江だと PR するのではなく、八雲がなぜ松江を評価したのかを正しく捉えて、発信していく必要がある。</li> <li>情報発信や資金の問題が叫ばれているが、解決策として AI の活用に取り組むことは喫緊の課題だと思う。人間がしなくてもいい仕事を AI に任せて、創造的なことに人間が打ち込む時間を作っていくべきだ。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表の場という点で、夜間の学校をもっと活用してはどうか。千代田区麴町中学校の工藤元校長がよい取組みを行っていた、これを参考にしてみてもよいと思う。</li> <li>・ 松江出身の若いバンドなどの音楽文化は全国で注目されているので、若い方がもっと音楽が練習できるように、廃校を活用してはどうか。</li> <li>・ 近年は日中が暑すぎて、涼しい夜間に小さな子どもたちが公園で遊んでいる。今後は夜の文化イベントを考えてもいいかと思う。また、夜にイベントを行うことで、観光客が宿泊もセットで滞在してくれる可能性もある。怪談のまちなので、夜の活用はまだ余地がある。</li> </ul>
(河野委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江は魅力的な文化が様々ある中で、出雲市の出雲大社や縁結びの様な、インパクトのあるテーマを定着させるのが永遠のテーマだと思う。</li> <li>・ せっかく第2期の実施計画を立てるのであれば、ぜひ年度毎に「小泉八雲」や「水の都」などで取組みのテーマを絞ってみてはどうか。大きなテーマの設定があれば、それに基づいた事業や教育、発信などを行うことができ、市民の気づきに繋がり、さらには事業者が乗っかることができると思う。やらなければならない事はたくさんあるが、その中でも中心となるものを示してもらえるとわかりやすい。</li> </ul>
(園山委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の10月にイギリスの人形劇団を招聘し公演をした。教育委員会にもご協力いただき、子どもたちの団体観劇の受け入れも実施した。子どもたちから、「もう一度見たい」「今度は家族と見たい」という感想が多く出てきたことを受け、今年も企画をしたが、チケット販売の初日と次の日は電話が鳴りっぱなしであった。これは本当に素晴らしいことだと思う。</li> <li>・ 福島県白河市のコミネスや、安来市のアルテピア、香川県のとらまる座などの国内の劇場と連携をして公演を実施した。連携をすることで、他の地域からお客さんが松江にやってくる。まさしくこれは文化力を生かしたまちづくりではないかと思う。</li> <li>・ 資金の確保について、松江市でも自治体が主体となって、メセナ協会をつくっていただきたい。出雲市がすでに取り組んでいるが、子どもたちが文化に接する機会を提供するため、松江市でもぜひ取り組んでいただきたい。</li> <li>・ 我々はSNSで広報をするのが非常に苦手なので、松江市や文化協会が主体となって、誰でもわかりやすくSNSで広報できるチャンスを作っていただけたらと思う。</li> </ul>
(高屋委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八雲立つ風土記の丘は、松江市と連携をしながら行事を実施している。今年は「山代二子塚古墳」が国の史跡に指定されて100周年を迎えるため、9・10月を中心に連携事業をいろいろと実施する予定である。</li> <li>・ 松江は古代の中心であった場所であり、江戸時代においても松江城や城下町ができ、再び出雲地方の中心となった場所である。</li> <li>・ コンテンツはたくさんあるが、幅広く情報発信をしていると伝わらない部分があ</li> </ul>

	<p>るので、短期の目線でテーマを絞って集中的に周知を図っていく必要がある。そのうえで、次のコンテンツを見据えた中長期的な情報発信ができる体制を整えておくことも大切。</p>
(田中昌子委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信が不足しているといわれるが、情報が多すぎて必要な方に届いていないのではないかと思う。必要な人に情報が届くように工夫をすることが、非常に大切だと感じている。</li> <li>・ 情報は当事者意識が無いと刺さらないので、情報を発信すると同時に、当事者意識を持たせるような体験・学習・鑑賞の機会を充実させていく必要があると思う。</li> <li>・ 文化芸術をしている方は、規模は問わず発表の場を目標に活動をしている。アンケートでも様々な意見が合ったが、発表の場をうまく作ることで、活動の糧や後継者育成につながってくるのではないか。</li> <li>・ イベントを企画する際は、しっかり目的をもって行くイベントや、ふらっと寄れるようなイベントの両方を実施することで、体験格差を少なくすることができるのではないかと思う。</li> </ul>
(田中豊委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2期実施計画のイメージについて、第1期で設定をしていた7つの課題を、4つの共通課題に整理されて、非常にシンプルになり分かりやすくなったと思う。これについて賛成する。</li> <li>・ 学校の先生は非常に忙しく、学校に誰かを招待してみんなで文化鑑賞をすることは、現実的に難しいと思う。より効果的に子どもに文化を体験してもらうためには、親子や子ども会などにアプローチしていくことが必要ではないかと思う。</li> <li>・ 文化体験イベントを実施する際に、学校や地域を巻き込んで実施するのは大変だと思うが、うまく巻き込む工夫をしながら、きめ細やかに行う努力をすべきだと思う。</li> </ul>
(原田委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートを回答した方は、その結果に対しての市の回答が欲しいのではないかと。ある程度絞ってもいいと思うので、可能な範囲で回答をしてはどうか。</li> <li>・ プラバホールの駐車場に関しては、リニューアルをしてから生協病院との連携がなくなってしまったという声があるが、状況や何か検討したことがあれば、発信をしてはどうか。</li> <li>・ 前回の実施計画の造りだと、課題が曖昧になってしまっていたので、第2期実施計画で課題を4つにまとめて、そこから事業を組み込んでいくのは分かりやすくて賛成だ。</li> <li>・ 効果的な情報発信が課題に出ているが、松江市文化協会がカバーできないかと考えている。すでに様々な団体と繋がりを持っているので、文化協会のHPや機関誌である「湖都松江」で文化団体の情報を包括的に掲載するなど、コーディネーターとしての役割をしてもらえるといいのではないかと。</li> <li>・ 学校での文化体験機会の充実という点で、教育現場は忙しいものの、前年のうちに予定を示すことで、それをもとに授業を組んでいくので、早めに周知をすれば</li> </ul>

	<p>可能ではないかと感じている。</p>
(森山委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総務省が行った調査で残念な結果が出ていた。2016年は1世帯あたりの緑茶の消費量が全国1位であったが、2019年～2021年の平均値では、その間市町村合併があり、現在は 34 位になっている。団塊の世代を境に、お茶の飲む機会が減っているということだと思われる。</li> <li>・ 松江市では、4月24日に学校給食でお茶を使ったメニューの提供や、イオンでの茶の湯の日のイベント、茶の湯の学校などの事業を通じて、茶の湯文化の振興を継続して図っている。また、リニューアルされたカラコロ工房では新たに茶室ができるなど、松江らしいおもてなしができることを嬉しく思っている。</li> <li>・ 茶の湯文化についても、発表の場があれば、後継者の育成に繋がると考えるので、大学や高校にも声をかけて、発表の機会を提供する必要がある。</li> <li>・ 「ばけばけ」の影響で今後観光客が増えると思われる塩見縄手付近は、バス停や便が少なく公共交通機関が不便な場所。レイクラインのダイヤの見直しやライドシェアの導入などについて検討していただきたい。</li> <li>・ 松江城周辺の活性化には、松江歴史館付近や塩見縄手周辺の歩道を広くして、歩行者の安全を確保する必要があると思う。</li> </ul>
(山本委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画の KPI について進捗状況が示されたが、目標どおり進捗していないものの中にも芽が出かかっている事業があると思う。出た芽を枯らさないように、そこをもう少し細かく分析してほしい。</li> <li>・ 市内の小中学校では、校外学習で工芸などの体験をしたいという機運は高まっていると感じる。体験をしたい子どもたちと各団体と結びつけていけるように、松江市にも協力していただきたい。</li> <li>・ 文化のアンケート調査において、県外の方の視点が足りないと思う。今後増えてくると予想される観光客のニーズを把握する必要があると思う。実施方法が難しいが検討をしていただきたい。</li> <li>・ 近年は日中が暑く、夜に活動する観光客が多いように感じる。松江は夜になると閉まるお店が多いので、夜のおもてなしを考えていく必要がある。新しくなったカラコロ工房は、なるべく夜遅くまで営業していただいて、松江の美味しいものなどが楽しめるようにしていただければと思う。</li> <li>・ 今後も物価は上がり続けていくことが予想され、イベントを実施していくことも困難になっていく。行政にも経営的な視点も持って、資金確保に取り組んでいただきたい。</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異常気象や経済格差を要因とする体験格差、働き方改革など、外部環境は激変している。国際文化観光都市松江の軸をぶれないような形で第2期実施計画を作成してほしい。</li> <li>・ 市場や民間ではできない、行政がやらなければならないことや行政だからできることがある。例えば、プラバホールのような公共施設の建設や維持などがある。このようなところを大切にしながら、しっかりと施設の管理運営をしていくこ</li> </ul>

	<p>とが必要になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一方で条件整備まで退いてもよい部分もある。例えば、規制緩和や社会的認知をする形で、民間の活動をバックアップする手もある。ここをうまく切り分けながら、第二期計画を立てていただければと思う。</li> </ul>
(上定市長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大変有意義なご意見をいただき感謝する。</li> <li>プラバホールの託児サービスについて、リニューアルオープン後、託児室は設けていないが、授乳室を新設した。また、市役所の新庁舎は託児スペースを設置予定である。議場についても、新たに防音スペースを設けて、親子で傍聴していただいている。</li> <li>情報発信について、市からの情報発信は文化活動以外もわかりやすくしてきた。確かに手段が多くてわかりにくい部分はあるものの、今年に入ってから松江市のホームページのリニューアルや公式 LINE をスタートした。また、松江ナビというWEBサイトで情報を一元管理ができるようにもした。今後も、誰でもわかりやすく、市民の方からの情報をうまくキャッチして、横の繋がりが持てるようなサイトを作っていく必要があると考えている。</li> <li>ご意見をいただいたとおり、夏は日中がとても暑いため、涼しい時間帯であるナイトタイムエコノミーを重視していく必要がある。新庁舎での夜のイベントや、水燈路での松江城周辺のライトアップなど、夜のイベントで松江の暗がりをもっと利用したまちづくりが重要だと考えている。カラコロ工房については、入居する事業者によって閉店時間が異なるが、夜の賑わうことで消費活動が活発になり、営業時間が長くなると思うので、うまく組み立てていきたい。</li> <li>学校の授業については、松江城と松江歴史館を見学する授業や、シジミ漁体験、職業体験プログラムなどのカリキュラムを提供している。今後は、プラバホールや文化芸術活動を授業に組み込んでいくことを検討していきたい。</li> <li>タクシーや公共交通機関が、運転手不足で利便性を維持できない状況になっており、ライドシェア等検討を進めている。AI デマンドバスというのを、去年の4月に八束と美保間でスタートした。また今年の4月に大野と秋鹿に広げて、10月からは宍道・八雲・忌部に広げていく。現在の公共交通を補完する形でできればと思う。</li> <li>県知事公舎の活用を検討している。塩見縄手からつながる非常にいい立地であるので、たくさんの方に来てもらえて、高付加価値になるような施設にしたいと考えている。</li> <li>第2期実施計画の策定に向けて、軸をずらすことなく、どこの地域にもある文化ではなく、松江の文化力を生かしたまちづくりをしていきたいと考えているので、本日各委員からいただいた意見をしっかりと受け止め、反映させていく。引き続きのご支援をお願いします。</li> </ul>
(垣内会長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各委員のご意見は市長がしっかりと受け止めていただいた。</li> <li>第2期実施計画の構成イメージについて、事務局からのご提案に審議会として</li> </ul>

	<p>賛同としてよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">〈全委員了承〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大局的な方向性の話から具体的な事業の在り方まで、多様なコメントを頂戴し、改めて感謝申し上げます。</li> <li>・ 以上で予定していた議題はすべて終了する。事務局へお返すする。</li> </ul>
--	--

<b>6. 閉会</b>	
(桑原部長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 垣内会長と各委員に感謝を申し上げます。</li> <li>・ 様々な知見から多くの貴重な意見をいただいた。第2期実施計画の策定に生かしていきたいと考えているので、引き続きご支援いただきたい。</li> <li>・ 以上で、第8回松江市伝統文化芸術振興審議会を終了する。</li> </ul>